

令和 2 年 4 月 2 1 日

小牧市長 山下 史守朗 様

小牧市議会

議長 舟 橋 秀 和

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望

新型コロナウイルスの感染者が全国的に増え続ける中、4月16日に政府は緊急事態宣言の対象地域を全国に拡大し、さらに愛知県を含む13都道府県を「特定警戒都道府県」に位置付けるなど、市民の危機感が日増しに高まっている。

そのような中、小牧市では、小中学校の臨時休校、保育園等の利用中止の保護者への強い要請、飲食店等への営業支援等、市民、事業者の安全・安心に向け、様々な対策が進められている。また、各議員も議員活動において、市民の皆様から、多種多様なご相談、ご意見、ご要望をいただいております。正副議長、各派代表者、議会運営委員会委員長などで構成する、「小牧市議会新型コロナウイルス対策支援会議」を、これまで8回にわたり開催し、市民要望を集約し、市に提言を行ってきた。

依然として、新型コロナウイルス感染症の拡大が収まる気配はなく、市民生活の不安、負担が増す一方である。そこで、市議会としても様々な検討を行ったところ、下記の3点については、早急に、特に重点的に取り組むべきであるとの結論となったので、速やかな対策を実施していただくよう、強く要望する。

記

- 1 水道料金などの公共料金の負担感が高まっているため、緩和策を検討すること。
- 2 休校が2か月を超えることとなり、子どもやその世帯に教育への不安が高まっていることから、学習支援に対する支援策を講ずること。
- 3 高齢者は重症化リスクが高く、各自様々な感染防止策を講じているが、マスクや消毒液等の価格の上昇が負担となっていることから、支援策を講ずること。

以上